



2020年3月30日

各 位

会 社 名 日 本 アジアグループ株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 山 下 哲 生  
(コード番号 3751 東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 瀧 田 隆 記  
TEL (03)4476-8000(代表)

**国際航業が Harris Geospatial 株式会社と  
衛星「SAR」を利用した変位監視について協業を開始**

当社の連結子会社である国際航業株式会社(代表取締役社長:土方 聡)が、Harris Geospatial株式会社(代表取締役:大川 満二郎)と衛星「SAR」を利用した変位監視について協業を開始しますので、別紙の通りお知らせいたします。

(別紙)

プレスリリース資料

『国際航業が Harris Geospatial 株式会社と  
衛星「SAR」を利用した変位監視について協業を開始』

以上

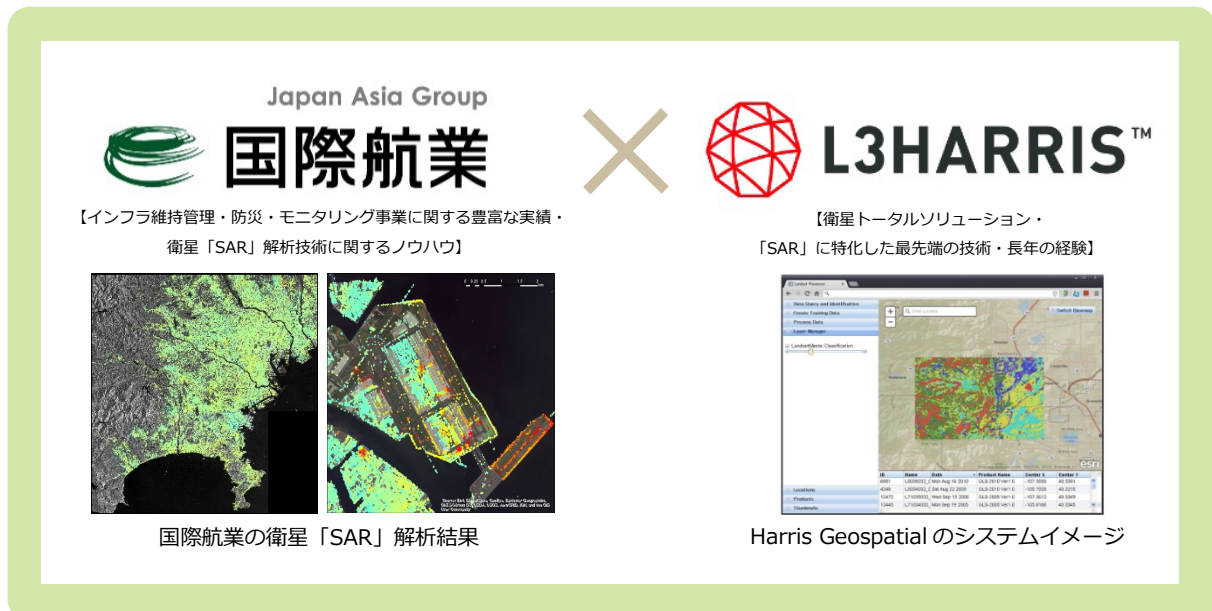
## 国際航業が Harris Geospatial 株式会社と 衛星「SAR」を利用した変位監視について協業を開始

グリーン・コミュニティの創造を目指す日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役会長兼社長:山下 哲生、以下「日本アジアグループ」)傘下の国際航業株式会社(代表取締役社長:土方 聡、以下「国際航業」)は、Harris Geospatial株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役:大川 満二郎、以下「Harris Geospatial」)と衛星「SAR」\*を利用した変位監視について協業を開始します。

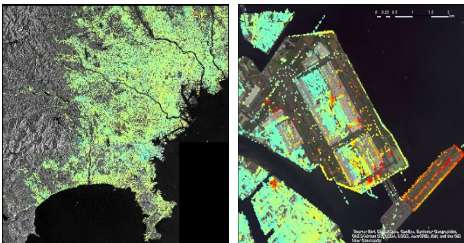
\*SAR:合成開口レーダー。マイクロ波を地面に照射し、反射した電波の強さや位相から地表を観測するセンサ。

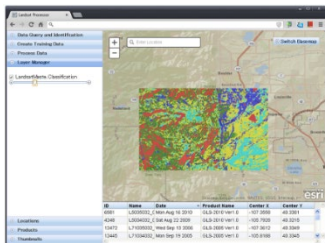
本協業では、国際航業がこれまで培ってきたインフラ維持管理・防災・モニタリング事業に関する豊富な実績や衛星「SAR」解析技術に関するノウハウと、Harris Geospatialが保有する衛星トータルソリューションや「SAR」に特化した最先端の技術・長年の経験を融合させることで、地表面や構造物、工事区間などを対象とした効率的かつ高度な変位監視ソリューションの創出を目指します。

なお、具体的なソリューション提供は2020年春を目標とします。



The diagram illustrates the collaboration between International Aviation and Harris Geospatial. It features the logos of both companies, a large 'X' symbol, and two images: SAR analysis results from International Aviation and a screenshot of the Harris Geospatial system interface.

**Japan Asia Group**  
**国際航業**  
【インフラ維持管理・防災・モニタリング事業に関する豊富な実績・衛星「SAR」解析技術に関するノウハウ】  
  
国際航業の衛星「SAR」解析結果

**L3HARRIS™**  
【衛星トータルソリューション・「SAR」に特化した最先端の技術・長年の経験】  
  
Harris Geospatial のシステムイメージ

衛星「SAR」を利用した変位監視における協業の概要図

■Harris Geospatial株式会社について

代 表 者:代表取締役 大川 満二郎

設 立 日:2007年11月5日

所 在 地:東京都文京区本郷1-20-3 中山ビル3F

事業内容:米国Harris Geospatial Solutions社製品およびサードパーティー製品の販売、サポート、  
トレーニング、コンサルテーション、受託開発など

ホームページ:<https://www.harrisgeospatial.co.jp/>

日本アジアグループは、「安心で安全、そして持続可能なまちづくりで社会に貢献」をミッションに掲げ、SDGs を追求する会社であり続けます。

---

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-4476-8007 e-mail:[press@japanasiagroup.jp](mailto:press@japanasiagroup.jp) URL:<https://www.japanasiagroup.jp/>